

往来

塩見明子

朴の花見えなくなりてより香る

往来の真ん中に鳩薄暑光

籐椅子や借りっぱなしの本一冊

桐の花古き映画を見しあとの

盃の一つを選ぶ蛍の夜

梅雨の月わづかに雲を従へて

拝啓と書いたきりなり蚊遣香

巴里祭やひるがへりゆく雨合羽

封筒に風の匂ひや夏休

あななすとともに吉報受けゐたり

台詞言ふやうにもの言ふ片かげり

白シャツや雨音に声かき消され